

鍵盤ハーモニカ使って

富山のNPO インドネシア訪問

インドネシアの音楽教育に活用するため、使わなくなった鍵盤ハーモニカとリコーダーの提供を呼び掛けている富



山市のNGO・インドネシア教育振興会(窪木靖信代表)

橋本さん(左)から鍵盤ハーモニカを受け取る児童
——インドネシアのヒカリ小学校
.....
は、同国の小学校に楽器を届けた。
窪木代表と、国際協力機構(JICA)の元シニア海外ボランティア、橋本とみ子さん(高岡市)が5月26日に同国南タンゲラン市のヒカリ小学校を訪れ、リコーダー41本、鍵盤ハーモニカ15個を贈った。子どもたちは早速音を鳴らし、喜んでいったという。楽器は同校の授業で使用する。

窪木代表は「予想以上に多くの楽器が寄せられ、善意に感謝している。まだ届けていない分もあるので、メンテナンスをしてから3、4回に分けて贈りたい」と話している。